

事務事業名	軽度・中等度難聴児補聴器購入助成事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	2013- 900078				
	□ 実施計画事業		所属課室	福祉課	課長名	有泉 久				
			所属担当	障害者自立支援担当	担当者名	石原 琢磨				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	01	一般	03	01	02	030	21
施策	30	障害者福祉の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業				
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満で18歳未満の軽度・中等度難聴児に対して、補聴器の購入に要する費用を基準額の2/3助成する。 市町村民税46万円以上の者がいる世帯は補助の対象外。		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)		項目(細節)		金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	
			扶助費				73			
								計	73	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 対象者案内・相談・申請受付・審査及び給付決定・助成額支払い。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 申請件数 件 イ
27年度活動予定 対象者案内・相談・申請受付・審査及び給付決定・助成額支払い。			
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内に居住する両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満で18歳未満の者。	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 軽度・中等度難聴児 人 イ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	補聴器購入費助成を受けることにより経済的負担が軽減される。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 補聴器購入費支給額 円 イ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	軽度・中等度難聴児であっても補聴器を使わずに済む場合、その年齢によって言語の発達遅滞、また周囲とのコミュニケーション障害及びそれに伴う情緒障害などが生じる可能性があることから、少しでもフラットに音が聴こえる状態にして言葉の意味を理解させ、難聴児のストレスも解消しながら、他の児童と同様に健やかに成長し、言葉の獲得、学力の向上を図る。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 言語の獲得、発達に寄与したと感じられた人の割合 % イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円		88	36	259	260	260	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		88	37	260	260	260	
		事業費計 (A)	千円	0	176	73	519	520	520	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間		50	50	50	50	50	
		人件費計 (B)	千円	0	228	228	228	228	228	0
		(A)+(B)	千円	0	404	301	747	748	748	0
活動指標	ア	件		2.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
対象指標	ア	人								
成果指標	ア	円		176.0	73.0	519.0	520.0	520.0		
上位成果指標	ア	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	県が平成25年度より実施したため、本市でも平成25年度より実施。また、制度の谷間を補完するため対象者を拡充している傾向にあり、他県では何県か実施しているところがあったため。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	今後は少子化を背景に利用者は減少すると思われる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成25年度より実施となったばかりであり、事業の経過を見ている段階である。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	軽度・中等度難聴児補聴器購入助成事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 聴覚は、音声言語の獲得、発達に欠かせないものであり、子供の健やかな成長、将来の社会参加が見込まれるため障害者福祉の充実に貢献している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 基準額を制度利用者1/3・県1/3・市1/3で負担する制度であるため、市が行わなければならないし、事業委託も不可能である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 制度の谷間を補完し、難聴児の健やかな成長、将来の社会参加のために重要な事業であり、継続・維持していくことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 この事業について難聴児及びその保護者への認知が低く、必要な利用者がまだいると思われるため、周知を図ることが必要である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) 補装具支給事業。 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 補装具支給事業で対象とならない児童を対象にしているため。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 補装具支給事業の対象とならない軽度・中等度難聴児のいる世帯の負担が大きくなってしまふ。また、経済的負担から購入できない世帯では、児童の言語発達遅滞、周囲との
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 交付する補聴器の基準額は決まっており、また市の負担率(1/3)は固定なので削減の余地は考えにくい。
公平性 評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事務に要する人数は最低限なので削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 対象者は偏るが他の福祉制度に比べ利用者負担が高い点から公平性が保たれている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	軽度・中等度難聴児であっても補聴器を使用しない場合、その年齢によって言語の発達遅滞、また周囲とのコミュニケーション障害及びそれに伴う情緒障害などが生じる可能性があることから、健やかに成長し、言葉の獲得、学力の向上を図るために必要な事業である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					